

調べ方ガイド 「原子力発電所を廃止するべき？」

For. 2年9組 / By.岡山芳泉高校図書館

※ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。出典明記もお忘れなく！

関係する官公庁

内閣府

- ・原子力委員会（国の原子力利用の基本方針の策定） <http://www.aec.go.jp/>
- ・原子力安全委員会（安全確保のための指針整備や安全審査） <http://www.nsc.go.jp/>

経済産業省

- ・原子力安全・保安院（設計・建設審査、保安検査、廃止措置認可） <http://www.nisa.meti.go.jp/>
- ・資源エネルギー庁（原子力を含むエネルギー政策の推進） <http://www.enecho.meti.go.jp/>

文部科学省

- ・原子力・放射線安全確保 http://www.mext.go.jp/a_menu/anzenkakuho/index.html

最初に読みたい基礎資料

【キーワードで調べる】

- ・『現代用語の基礎知識』自由国民社[031]
- ・『朝日キーワード』朝日新聞出版[813.7]
- ・『ニュース解説室へようこそ！』清水書院[310.36]

【基本と論点を知る】

- ・『日本の論点』文藝春秋[304] ※ほぼ毎年、論点として取り上げられている。解説もわかりやすい。

理解するための本・雑誌・Web サイト

漆原次郎(2011)『原発と次世代エネルギーの未来がわかる本』洋泉社. [501.6]

原子力発電のしくみから世界の原発分布図、福島第一原発事故後の各国首脳たちによる自国の原発政策に対する発言や声明、次世代エネルギーの可能性など、今後の原発を考える上での周辺資料が豊富。

和田長久ほか(2011)『原子力・核問題ハンドブック』七つ森書館. [539.03]

日本と世界の原発の現状、商業利用に伴う周辺問題など、原発の実態をより深く、より広く知りたい時に。

竹田敏一(2011)『知っておきたい原子力発電』(図解雑学) ナツメ社. [539]

純粋に原子力の基本的な知識を得たい時に。

雑誌「Newton」(2011年6月号・7月号)

科学雑誌「Newton」による特集記事。6月号では「徹底分析 福島第一原発事故」として事故の概要のほか、原子力発電の現状も紹介。7月号の「きちんと知りたい原発と放射能」では、それぞれについてより詳しく解説。

参考になる Web サイト

- ・放射線等のことが学べる「あとみん」(財団法人日本原子力文化振興財団) <http://www.atomin.go.jp/>
- ・原子力百科事典 ATOMICA (財団法人高度情報科学技術研究機構) <http://www.rist.or.jp/atomica/>
- ・電気事業連合会 <http://www.fepec.or.jp/>
- ・環境防災 N ネット (文部科学省) <http://www.bousai.ne.jp/vis/index.php>

統計・白書

経済産業省(2012)『エネルギー白書 2011 年版』新高速印刷株式会社. [501.6] ※オンラインでも見ることができます

日本のエネルギー国内供給構成及び自給率の推移やエネルギーバランス・フロー、主要国のエネルギー政策、各国のエネルギー自給率と原子力利用の関係、震災後の各国の原子力政策の動向など、2011 年のエネルギーを巡る話題をまとめています。

※オンラインで見える場合：経済産業省 (<http://www.meti.go.jp/>) →白書・報告等→エネルギー白書 2011

日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット(2011)『EDMC/エネルギー・経済統計要覧(2011 年版)』

省エネルギーセンター. [501.6]

提供される電力に原子力発電が占める割合や原子力エネルギーの消費量(世界主要国)、エネルギー源別発電電力量の推移など、「基本データから需要部門別、エネルギー源別の各種統計、世界の経済指標、CO2 排出量、超長期統計」を網羅。それぞれ、非常に詳しい数値が分かります。

原子力委員会(2010)『原子力白書 平成 21 年版』エネルギーフォーラム. [539] ※オンラインでも見ることができます

「平成 21 年の原子力全般に関する動向をとりまとめる。原子力の研究、開発及び利用に関する最近の動向を解説した「本編」、原子力委員会の決定等、原子力関係予算、年表等をまとめた「資料編」の 2 部構成。」※県立図書館からの取寄せとなります。

※オンラインで見える場合：内閣府原子力委員会 (<http://www.aec.go.jp/>) →決定文・報告書等→原子力白書

資源エネルギー年鑑編集委員会(2009)『資源エネルギー年鑑(2009-2010)』通産資料出版会. [501.6]

「資源・エネルギーを巡る諸情勢・政策・制度等について、最新の情報及び重要基本情報を網羅した年鑑。エネルギー編「総論」、エネルギー編「各論」、資源編の 3 部構成。」※県立図書館からの取寄せとなります。

図書ピックアップ (これはほんの一部。他にもたくさん関連する本があります。NDC「543.5」は要チェック！)

【震災後の本から】

- ・飯田哲也ほか(2011)『今こそ、エネルギーシフト』(岩波ブックレット) 岩波書店. [543.5]
- ・小出裕章(2011)『原発のウソ』(扶桑社新書) 扶桑社. [543.5]
- ・広瀬隆(2011)『FUKUSHIMA 福島原発メルトダウン』(朝日新書) 朝日新聞出版. [543.5]

【震災前の本から】

- ・吉岡斉(2011)『原発と日本の未来』(岩波ブックレット) 岩波書店. [543.5]
- ・矢沢潔(2008)『原子力カルネサンス エネルギー問題の不可避の選択』技術評論社. [543.5]
- ・西尾漢(2006)『新版 原発を考える 50 話』(岩波ジュニア新書) 岩波書店. [543.5]
- ・原子力資料情報室(2002)『検証 東電原発トラブル隠し』(岩波ブックレット) 岩波書店. [543.5]
- ・天笠啓祐ほか(1992)『原発はなぜこわいか 増補版』高校生文化研究会. [543.5]
- ・田中三彦(1990)『原発はなぜ危険か 元設計技師の証言』(岩波新書) 岩波書店. [543.5]

- ・雑誌……「週刊朝日」、「AERA」、「Newsweek」など。バックナンバーもチェックしてみよう！
- ・新聞……山陽新聞、朝日新聞、毎日新聞(過去 2 年間分を保存しています)

資料のお問い合わせは図書館まで♪

ここに掲載している情報はほんの一例です。ほかの資料を調べる時は、出典と正確さ・鮮度を確認しよう。レポートへの出典明記もお忘れなく！